

東京都介護支援専門員実務研修希望者 各位

公益財団法人東京都福祉保健財団

第 2 7 回第 2 期東京都介護支援専門員実務研修受講者の募集について

第 2 7 回第 2 期東京都介護支援専門員実務研修（以下、「実務研修」といいます。）を実施します。実務研修を修了し、介護支援専門員証の登録及び交付の手続きを完了すると、介護支援専門員として、業務に従事することができます。

本研修の受講を希望される方は、下記手続きによりお申し込みください。

記

1 受講対象者

東京都介護支援専門員実務研修受講試験に合格した方

なお、2 頁「7（2）登録の欠格事由」に該当する方は、研修を受講しても介護支援専門員の登録ができません。

2 研修実施方法

以下、(1) から (3) までの順番で受講していただきます。

(1) 前期課程

①講義動画の視聴・個人学習・修了評価テスト

指定する期間中にお手持ちのパソコン、タブレット、スマートフォンを使用して、各自で「ケアマネ研修管理システム」により講義動画を視聴し、個人学習と修了評価テストを行っていただきます。期間中であれば、**24 時間ご都合の良い時間帯に視聴等が可能**ですが、動画視聴には大量のデータ通信を行うため、スマートフォンまたはタブレットを使用すると、通信会社のデータ容量制限に達する場合があります。そのため、通信容量無制限の Wi-Fi 環境など、容量制限がない環境での受講を推奨します。

②グループ演習（研修）

指定された受講日に、グループ演習（研修）を受講していただきます。

Zoom を使用して受講するオンライン研修コースと会場で受講する集合研修コースがあります。

なお、オンライン研修コースでは、Zoom の画面共有機能を使用しますので、**パソコンでの参加が必須**となります。（タブレット端末、スマートフォン不可）

(2) 実習

前期日程と後期日程の間に 2 日間以上の実習に行ってください、課題を作成していただきます。（※課題等は、受講決定通知とあわせてご案内いたします。）

なお、当財団で、実習先の事業所を選定いたしますが、個人情報保護の観点からご自宅、勤務先の区市町村を除外いたします。

(3) 後期課程

上記（1）と同様、①講義動画の視聴・個人学習・修了評価テスト及び②グループ演習（研修）を受講していただきます。

3 受講申込方法

インターネット申込で受付を行います。別紙「研修の申込あたっての操作マニュアル」をご一読の上、お申し込みください。

申し込み後の内容変更は承れません。受講コース等をよくお確かめのうえ、お申し込みください。

【申込期間】

令和7年3月26日（水）10時00分から4月11日（金）17時00分まで

- ・先着順ではございません。
- ・上記の期間内に**申込手続きを完了**させてください。期間外の受付はできません。

※ お申込みの URL、二次元コードは、別紙「研修の申込あたっての操作マニュアル」2頁にあります。日程等をご確認のうえ、お申し込みください。

4 受講の決定方法

原則、今回お申込みいただいた方は、全員受講できるよう定員を拡充しておりますが、**コース定員を超過した場合は、抽選により受講決定させていただきます。**

なお、ご希望以外のコースに調整させていただく場合は、個別に連絡させていただきます。

5 申込結果及び受講決定の通知

(1) 申込結果通知

申込者全員に、ご登録のメールアドレスに宛て、**令和7年4月23日（水曜日）頃**、受講決定・不決定の審査結果を通知いたします。

(2) 受講決定通知

受講決定者のみ、ご登録の住所宛に受講決定通知を普通郵便にて郵送いたします。

到着予定日：令和7年5月9日（金曜日）

6 受講料及びテキスト送付

(1) 受講料

44,600円（非課税）

受講決定通知に同封する払込用紙で、払込期日までにお支払いください。

※払込期日は到着から**7日程度**と短くなっておりますので、ご注意ください。

(2) テキストの送付

受講料の払込確認後、研修テキスト等をご自宅に配送いたします。

7 介護支援専門員登録及び介護支援専門員証の交付申請

(1) 申請方法法等

申請方法及び交付日程等につきましては、受講中に配信するオリエンテーション動画をご確認ください。

なお、**介護支援専門員証の最短での交付は、令和7年10月15日付**となります。

(2) 登録の欠格事由

介護保険法第69条の2第1項各号において定める以下の①から⑦までのいずれかの欠格事由に該当する方は、介護支援専門員の登録が認められません。

- ①心身の故障により介護支援専門員の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- ②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者
- ③この法律その他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律で政令で定めるものの規定により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者
- ④登録の申請前5年以内に居宅サービス等に関し不正又は著しく不当な行為をした者
- ⑤第69条の38第3項の規定による禁止の処分を受け、その禁止の期間中に第69条の6第1号の規定によりその登録が消除され、まだその期間が経過しない者
- ⑥第69条の39の規定による登録の消除の処分を受け、その処分の日から起算して5年を経過しない者
- ⑦第69条の39の規定による登録の消除の処分に係る行政手続法（平成5年法律第88号）第15条の規定による通知があった日から当該処分をする日又は処分をしないことを決定する日までの間に登録の消除の申請をした者（登録の消除の申請について相当の理由がある者を除く。）であって、当該登録が消除された日から起算して5年を経過しないもの

8 個人情報取扱い

受講申込時に記載いただいた個人情報については、適正に管理を行い、東京都介護支援専門員研修の受講要件審査・実施及び名簿登録・修了証書発行業務以外の目的に使用することはありません。

なお、受講要件審査のため、介護支援専門員証の登録元である東京都から他の東京都指定研修実施機関に対し、受講履歴等の提供を行います。

9 受講地の変更

東京都介護支援専門員実務研修受講試験に合格された方は、原則、東京都で実務研修を受講する必要があります。

ただし、他道府県庁にやむを得ないと判断された場合のみ、受講地変更の手続きを経て、他県での受講が認められます。

受講地変更を希望される方は、**研修申込期間中に、必ず以下の問合せ先へ電話連絡し、受講地変更が認められるかご相談ください。**

受講地変更は東京都と道府県間で手続きを行うため時間を要します。そのため、受講地変更のお手続き状況によっては研修の受講ができない場合がございます。

なお、東京都介護支援専門員実務研修受講試験に合格した方を優先して受講決定いたします。定員に空きがない場合は、受講不決定とさせていただきますので、ご注意ください。

【受講地変更の問合せ先】

東京都福祉局 高齢者施策推進部 介護保険課 ケアマネジメント支援担当
電話：03-5320-4279

10 東京都介護支援専門員法定研修受講料補助

本研修は、令和7年度から東京都が実施する研修受講料補助金の対象となります。補助金の対象経費は、研修受講料のうち、受講者の勤務先等が負担した経費となり、補助金の申請者及び交付先は事業所等となります。詳細については、下記ホームページでご確認ください。

【東京都ホームページ 介護支援専門員法定研修受講料補助事業】

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei/hoken/kaigo_lib/care/kensyuzyukouryouhozyo

11 その他

研修申込のあたっての参考資料を掲載しております。下記の URL または二次元コードからお確かめください。

【研修カリキュラム】

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei/hoken/kaigo_lib/care/kenshuujyohou.files/zitumukensyuu.pdf



【オンライン研修コースについて】

<https://www.keamane.tokyo.jp/wp-content/uploads/2024/05/オンライン研修コースについて.pdf>



【介護支援専門員の資格及び研修の体系】

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/fukushi/keamanekensyutaikeizu20250310-pdf>



<お問合せ先>

公益財団法人東京都福祉保健財団
人材養成部 介護人材養成室 ケアマネ担当

電話番号 03-3344-8512 (平日: 8時45分~17時30分)

◆申込み期間は、電話が大変混み合う場合がございますので、募集要項を必ずご確認の上、お電話いただきますようお願いいたします。

URL: <https://www.keamane.tokyo.jp/kensyu/>



第27回第2期東京都介護支援専門員実務研修 日程

1 2505a1 (オンライン研修コース)

	科目名称	時間※	受講日・受講方法	
前期動画配信科目	開講オリエンテーション・実習オリエンテーション	10分	令和7年5月23日 ～ 令和7年6月30日 ・配信動画を ケアマネ研修管理システムで 視聴 ・個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答	
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間		
	自立支援のためのケアマネジメントの基本	約6時間		
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	約4時間		
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間		
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	約2時間		
	ケアマネジメントのプロセス	約2時間		
	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術・受付及び相談並びに契約	約1時間		
	アセスメント及びニーズの把握方法	約110分		
	居宅サービス計画書等の作成①	約20分		
	サービス担当者会議の意義及び進め方①	約20分		
	モニタリング及び評価①	約20分		
	介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	約2時間		
	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間		
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間		
	ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間		
生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント①	約50分			
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント①	約70分			
グループ演習	前期1日目	アセスメント及びニーズの把握方法②	9:30 -17:30	6/10 (火) オンライン (Zoom)
		居宅サービス計画書等の作成②		
	前期2日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	6/17 (火) オンライン (Zoom)
		看取り等における看護サービスの活用に関する事例②		
	前期3日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	6/24 (火) オンライン (Zoom)
		看取り等における看護サービスの活用に関する事例②		
実習	ケアマネジメントの基礎技術についての実習		※実習期間は、受講決定通知書をご確認ください。	
後期動画科目	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	令和7年7月11日 ～ 8月15日 ・配信動画を ケアマネ研修管理システムで 視聴 ・個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答	
	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント①	約1時間		
	心疾患のある方のケアマネジメント	約3時間		
	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	約3時間		
	高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解	約2時間		
	看取りに関する事例	約4時間		
	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約3時間		
グループ演習	後期1日目	実習振り返り	9:30 -17:30	8/27 (水) オンライン (Zoom)
		大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②		
	後期2日目	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	9:30 -17:30	9/8 (月) オンライン (Zoom)
		研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り①		
後期動画科目	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約50分	後期2日目終了後、 配信動画を ケアマネ研修管理システムで 視聴	

※ 研修（グループ演習）の終了時間は予定です。詳細は別途ご連絡いたします。

第27回第2期東京都介護支援専門員実務研修 日程

2 2505b1 (オンライン研修コース)

		科目名称	時間※	受講日・受講方法
前期動画配信科目	開講オリエンテーション・実習オリエンテーション		10分	<p style="text-align: center;">令和7年5月23日 ～ 令和7年6月30日</p> <p style="text-align: center;">・ 配信動画を ケアマネ研修管理システム で視聴</p> <p style="text-align: center;">・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント		約3時間	
	自立支援のためのケアマネジメントの基本		約6時間	
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎		約4時間	
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理		約3時間	
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意		約2時間	
	ケアマネジメントのプロセス		約2時間	
	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術・受付及び相談並びに契約		約1時間	
	アセスメント及びニーズの把握方法		約110分	
	居宅サービス計画書等の作成①		約20分	
	サービス担当者会議の意義及び進め方①		約20分	
	モニタリング及び評価①		約20分	
	介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）		約2時間	
	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源		約3時間	
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義		約3時間	
	ケアマネジメントに係る法令等の理解		約2時間	
生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント①		約50分		
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント①		約70分		
グループ演習	前期1日目	アセスメント及びニーズの把握方法②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">6/11 (水) オンライン (Zoom)</p>
		居宅サービス計画書等の作成②		
	前期2日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">6/18 (水) オンライン (Zoom)</p>
		看取り等における看護サービスの活用に関する事例②		
	前期3日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">6/25 (水) オンライン (Zoom)</p>
		看取り等における看護サービスの活用に関する事例②		
実習	ケアマネジメントの基礎技術についての実習			※実習期間は、受講決定通知書をご確認ください。
後期動画科目	脳血管疾患のある方のケアマネジメント		約3時間	<p style="text-align: center;">令和7年7月11日 ～ 8月15日</p> <p style="text-align: center;">・ 配信動画を ケアマネ研修管理システム で視聴</p> <p style="text-align: center;">・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>
	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント①		約1時間	
	心疾患のある方のケアマネジメント		約3時間	
	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント		約3時間	
	高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解		約2時間	
	看取りに関する事例		約4時間	
	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント		約3時間	
グループ演習	後期1日目	実習振り返り	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">9/1 (月) オンライン (Zoom)</p>
		大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②		
	後期2日目	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">9/9 (火) オンライン (Zoom)</p>
		研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り①		
後期動画科目	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント		約50分	<p style="text-align: center;">後期2日目終了後、 配信動画を ケアマネ研修管理システム で視聴</p>

※ 研修（グループ演習）の終了時間は予定です。詳細は別途ご連絡いたします。

第27回第2期東京都介護支援専門員実務研修 日程

3 2505C1 (オンライン研修コース)

		科目名称	時間※	受講日・受講方法
前期 動画 配信 科目	開講オリエンテーション・実習オリエンテーション		10分	<p style="text-align: center;">令和7年5月23日 ～ 令和7年6月30日</p> <p style="text-align: center;">・ 配信動画を ケアマネ研修管理システム で視聴</p> <p style="text-align: center;">・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント		約3時間	
	自立支援のためのケアマネジメントの基本		約6時間	
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎		約4時間	
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理		約3時間	
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意		約2時間	
	ケアマネジメントのプロセス		約2時間	
	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術・受付及び相談並びに契約		約1時間	
	アセスメント及びニーズの把握方法		約110分	
	居宅サービス計画書等の作成①		約20分	
	サービス担当者会議の意義及び進め方①		約20分	
	モニタリング及び評価①		約20分	
	介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）		約2時間	
	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源		約3時間	
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義		約3時間	
	ケアマネジメントに係る法令等の理解		約2時間	
生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント①		約50分		
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント①		約70分		
グループ 演習	前期1日目	アセスメント及びニーズの把握方法②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">6/12 (木) オンライン (Zoom)</p>
		居宅サービス計画書等の作成②		
	前期2日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">6/20 (金) オンライン (Zoom)</p>
		看取り等における看護サービスの活用に関する事例②		
	前期3日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">6/27 (金) オンライン (Zoom)</p>
		看取り等における看護サービスの活用に関する事例②		
実習	ケアマネジメントの基礎技術についての実習			※実習期間は、受講決定通知書をご確認ください。
後期 動画 科目	脳血管疾患のある方のケアマネジメント		約3時間	<p style="text-align: center;">令和7年7月11日 ～ 8月15日</p> <p style="text-align: center;">・ 配信動画を ケアマネ研修管理システム で視聴</p> <p style="text-align: center;">・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>
	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント①		約1時間	
	心疾患のある方のケアマネジメント		約3時間	
	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント		約3時間	
	高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解		約2時間	
	看取りに関する事例		約4時間	
	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント		約3時間	
グループ 演習	後期1日目	実習振り返り	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">9/5 (金) オンライン (Zoom)</p>
		大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②		
	後期2日目	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">9/10 (水) オンライン (Zoom)</p>
		研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り①		
後期 動画 科目	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント		約50分	<p style="text-align: center;">後期2日目終了後、 配信動画を ケアマネ研修管理システム で視聴</p>

※ 研修（グループ演習）の終了時間は予定です。詳細は別途ご連絡いたします。

第27回第2期東京都介護支援専門員実務研修 日程

4 2505d1 (集合研修コース)

	科目名称	時間※	受講日・受講方法	
前期動画配信科目	開講オリエンテーション・実習オリエンテーション	10分	<p style="text-align: center;">令和7年5月23日 ～ 令和7年6月30日</p> <p style="text-align: center;">・ 配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴</p> <p style="text-align: center;">・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>	
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間		
	自立支援のためのケアマネジメントの基本	約6時間		
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	約4時間		
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間		
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	約2時間		
	ケアマネジメントのプロセス	約2時間		
	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術・受付及び相談並びに契約	約1時間		
	アセスメント及びニーズの把握方法	約110分		
	居宅サービス計画書等の作成①	約20分		
	サービス担当者会議の意義及び進め方①	約20分		
	モニタリング及び評価①	約20分		
	介護支援専門員に求められるマネジメント (チームマネジメント)	約2時間		
	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間		
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間		
	ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間		
生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント①	約50分			
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント①	約70分			
グループ演習	前期1日目	アセスメント及びニーズの把握方法② 居宅サービス計画書等の作成②	9:30 -17:30	6/13 (金) 集合 (あいおい)
	前期2日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント② 看取り等における看護サービスの活用に関する事例②	9:30 -17:30	6/19 (木) 集合 (あいおい)
	前期3日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント② 看取り等における看護サービスの活用に関する事例②	9:30 -17:30	7/1 (火) 集合 (あいおい)
	実習	ケアマネジメントの基礎技術についての実習		※実習期間は、受講決定通知書をご確認ください。
	後期動画科目	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	<p style="text-align: center;">令和7年7月11日 ～ 8月15日</p> <p style="text-align: center;">・ 配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴</p> <p style="text-align: center;">・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>
		大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント①	約1時間	
心疾患のある方のケアマネジメント		約3時間		
誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント		約3時間		
高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等)の留意点の理解		約2時間		
看取りに関する事例		約4時間		
地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント		約3時間		
グループ演習	後期1日目	実習振り返り 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	9/2 (火) 集合 (あいおい)
	後期2日目	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り①	9:30 -17:30	9/11 (木) 集合 (あいおい)
後期動画科目	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約50分	後期2日目終了後、 配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴	

※ 研修(グループ演習)の終了時間は予定です。詳細は別途ご連絡いたします。

《集合研修コースの会場詳細》 ※会場は変更となる可能性があります。

会場略称	会場正式名称	交通機関最寄駅
あいおい	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル (渋谷区代々木3-25-3)	都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」/都営新宿線、 JR・私鉄各線「新宿駅」

第27回第2期東京都介護支援専門員実務研修 日程

5 2505e1 (集合研修コース)

	科目名称	時間※	受講日・受講方法	
前期動画配信科目	開講オリエンテーション・実習オリエンテーション	10分	<p>令和7年5月23日 ～ 令和7年6月30日</p> <p>・ 配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴</p> <p>・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>	
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間		
	自立支援のためのケアマネジメントの基本	約6時間		
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	約4時間		
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間		
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	約2時間		
	ケアマネジメントのプロセス	約2時間		
	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術・受付及び相談並びに契約	約1時間		
	アセスメント及びニーズの把握方法	約110分		
	居宅サービス計画書等の作成①	約20分		
	サービス担当者会議の意義及び進め方①	約20分		
	モニタリング及び評価①	約20分		
	介護支援専門員に求められるマネジメント (チームマネジメント)	約2時間		
	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間		
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間		
	ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間		
	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント①	約50分		
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント①	約70分			
グループ演習	前期1日目	アセスメント及びニーズの把握方法② 居宅サービス計画書等の作成②	9:30 -17:30	6/14 (土) 集合 (あいおい)
	前期2日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント② 看取り等における看護サービスの活用に関する事例②	9:30 -17:30	6/23 (月) 財団 (あいおい)
	前期3日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント② 看取り等における看護サービスの活用に関する事例②	9:30 -17:30	7/2 (水) 財団 (あいおい)
	実習	ケアマネジメントの基礎技術についての実習		※実習期間は、受講決定通知書をご確認ください。
	後期動画科目	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	<p>令和7年7月11日 ～ 8月15日</p> <p>・ 配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴</p> <p>・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>
		大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント①	約1時間	
心疾患のある方のケアマネジメント		約3時間		
誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント		約3時間		
高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等)の留意点の理解		約2時間		
看取りに関する事例		約4時間		
地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント		約3時間		
グループ演習	後期1日目	実習振り返り 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	9/3 (水) 集合 (あいおい)
	後期2日目	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り①	9:30 -17:30	9/12 (金) 集合 (あいおい)
	後期動画科目	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約50分	後期2日目終了後、 配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴

※ 研修(グループ演習)の終了時間は予定です。詳細は別途ご連絡いたします。

《集合研修コースの会場詳細》 ※会場は変更となる可能性があります。

会場略称	会場正式名称	交通機関最寄駅
あいおい	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル (渋谷区代々木3-25-3)	都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」/都営新宿線、 JR・私鉄各線「新宿駅」

第27回第2期東京都介護支援専門員実務研修 日程

6 2505f1 (集合研修コース)

	科目名称	時間※	受講日・受講方法	
前期動画配信科目	開講オリエンテーション・実習オリエンテーション	10分	<p style="text-align: center;">令和7年5月23日 ～ 令和7年6月30日</p> <p style="text-align: center;">・ 配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴</p> <p style="text-align: center;">・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>	
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間		
	自立支援のためのケアマネジメントの基本	約6時間		
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	約4時間		
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間		
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	約2時間		
	ケアマネジメントのプロセス	約2時間		
	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術・受付及び相談並びに契約	約1時間		
	アセスメント及びニーズの把握方法	約110分		
	居宅サービス計画書等の作成①	約20分		
	サービス担当者会議の意義及び進め方①	約20分		
	モニタリング及び評価①	約20分		
	介護支援専門員に求められるマネジメント (チームマネジメント)	約2時間		
	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間		
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間		
	ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間		
生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント①	約50分			
認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント①	約70分			
グループ演習	前期1日目	アセスメント及びニーズの把握方法② 居宅サービス計画書等の作成②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">6/15 (日)</p> <p style="text-align: center;">集合 (あいおい)</p>
	前期2日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント② 看取り等における看護サービスの活用に関する事例②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">6/26 (木)</p> <p style="text-align: center;">財団 (あいおい)</p>
	前期3日目	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント② 看取り等における看護サービスの活用に関する事例②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">7/3 (木)</p> <p style="text-align: center;">財団 (あいおい)</p>
	実習	ケアマネジメントの基礎技術についての実習		※実習期間は、受講決定通知書をご確認ください。
	後期動画科目	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	<p style="text-align: center;">令和7年7月11日 ～ 8月15日</p> <p style="text-align: center;">・ 配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴</p> <p style="text-align: center;">・ 個人学習シートの作成及び 修了評価テストの回答</p>
		大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント①	約1時間	
心疾患のある方のケアマネジメント		約3時間		
誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント		約3時間		
高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等)の留意点の理解		約2時間		
看取りに関する事例		約4時間		
地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント		約3時間		
グループ演習	後期1日目	実習振り返り 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント②	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">9/4 (木)</p> <p style="text-align: center;">集合 (あいおい)</p>
	後期2日目	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り①	9:30 -17:30	<p style="text-align: center;">9/13 (土)</p> <p style="text-align: center;">集合 (あいおい)</p>
	後期動画科目	地域共生社会の実現に向けた他法制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約50分	<p style="text-align: center;">後期2日目終了後、</p> <p style="text-align: center;">配信動画を ケアマネ研修管理システムで視聴</p>

※ 研修(グループ演習)の終了時間は予定です。詳細は別途ご連絡いたします。

《集合研修コースの会場詳細》 ※会場は変更となる可能性があります。

会場略称	会場正式名称	交通機関最寄駅
あいおい	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル (渋谷区代々木3-25-3)	都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」/都営新宿線、 JR・私鉄各線「新宿駅」